

特別企画

★スポーツによる地域活性化の促進に取り組むクラブ★

一般社団法人

木曾ひのきっ子ゆうゆうクラブ

長野県木曾郡上松町

総合型クラブには、地域コミュニティの核として、地域スポーツ環境の充実やスポーツを通じた地域課題解決などの取り組みが期待されています。

そこで今回は、スポーツによる地域活性化の促進に取り組むクラブを紹介します。

1

クラブ概要

1歳から97歳まで幅広い年齢層で活動中

一般社団法人木曾ひのきっ子ゆうゆうクラブは、長野県木曾郡上松町で事業を展開しているクラブです。クラブ出身有名選手は大相撲の御嶽海関です。御嶽海が小学生の時にクラブを設立し、御嶽海も「子どもベーシックスポーツ」という小学生の動きづくりの教室に参加して体づくりをしていました。

総合型地域スポーツクラブは、スポーツ協会や教育委員会の管轄というイメージがありますが、私たちのクラブは生涯スポーツを推進する教育委員会、健康づくりなどを推進する住民福祉課、観光振興を推進する産業観光課、保育園や小学校そして中学校等と連携をとり、クラブ単独の事業を展開するだけでなく、上松町のいろいろな組織と協働して事業展開をしています。そのほうが町としても広範囲にわたりグローバルな事業展開ができるからです。町の地域資源を生かして、健康づくりやスポーツパフォーマンス向上等地域住民のニーズに応じた事業が展開できると考えます。

現在会員数は、530人で人口(4,032人)の約13%の方が会員になっています。1歳の幼児から97歳のおばあちゃんまでいます。教室は自然体験をはじめ会員のニーズに合わせた教室を展開。事務局は町の教育委員会から2名と臨時職員1名そして非常勤の事務局長で運営しています。



健康づくりは「継続」と言っている97歳のおばあちゃんのTRX。
世界中で一人かも？

2 関係団体との連携によりさまざまなイベントが実現

地域資源を生かした教室を実施

1のクラブ概要で説明したように、会員のニーズに合った教室だけでなく、地域の資源を生かした事業を展開しています。当町の観光資源でもある森林浴発祥の森「赤沢自然休養林」を利用したウォーキング教室やセラピーウォーキングイベントなどを観光協会等と連携し事業を実施しています。

また、当町にはB&G海洋センターがあることから、水泳のみに特化しない水辺の教室・体験と題して、ウォーターレクリエーションやカヌー&サップ体験等も実施しています。特にカヌー&サップは木曾養護学校と連携して養護学校での体育の授業をバックアップして、サップやカヌー体験を授業で行います。日ごろ体験できない経験を子どもたちに体験してもらっています。

また、やぶはら高原の奥木曾湖で年2回カヌー&サップ体験を開催しています。雄大な自然の中での水辺体験を親子でできるように事業を展開しています。日ごろ体験できないことをすることは、子どもたちの脳を刺激して成長に寄与できると考えています。

この事業の開催には木祖村のサップやカヌーも使用することから木祖村教育委員会や、やぶはら高原の奥木曾グリーンリゾート(株)等の連携により事業を展開しています。またB&G事業としても開催しますので、体験が終わってからはダム湖周辺のごみ拾いをします。

連携団体と何度も連絡を取ることでお互いの理解が深まり合う

こういった関係団体との連携は、私たちから企画を提案したことで実現していますが、いろいろな団体と連携するためにはそれなりの準備が必要です。何度も事業内容について関係団体と連絡を取り計画していきます。しかし、それによっていろいろな組織との関係が密になって総合型スポーツクラブを理解してもらえるいい機会になります。そうするとまた新たな事業展開につなげていける要素が見えてくると思います。



B&Gプールを使ったウォーターレク。
水泳だけに特化していません。水とお友達作戦



奥木曾湖でカヌー&サップ体験。
自然の中で子どもたちは成長していく

3 いろいろな組織との協働により事業の幅を広げる スポーツ環境づくりが可能に

他団体との連携で事業のスケールアップが実現

ゆうゆうクラブの事業はできるだけいろいろな関係団体と連携をとって事業展開していくので、スポーツ環境をどう整備してどう連携をとるかの調整に力を入れて取り組んでいます。行政との連携を始めるための段取りがなかなか大変ですが、それができるといことはいろいろな組織と協働できるので、その環境づくりの幅を広げることになると考えています。小さいなかで事業展開することなく、いろいろな組織と連携することで事業の幅を広げるスポーツ環境づくりが可能となると考えています。

総合型地域スポーツクラブは民間のスポーツクラブとも違う、行政の健康づくり教室とも違う民と官両方の性格を持っていると思いますので、幅広くスポーツ環境づくりを可能にしてくれる組織だと考えます。

町全体を「スポーツで元気に」。町制100周年記念事業でも活躍

昨年度は町制100周年記念として町に協力をし、桐蔭横浜大学のチアダンス部に町の小学生へダンスを指導していただき、町制100周年記念の開会行事に大学生と小学生のコラボダンスを披露しました。さらに長年の念願であった町内駅伝大会を町制100周年記念事業として、町やスポーツ協会・スポーツ推進委員・公民館と私たちが連携し開催することができました。

こうして町内のいろいろな組織と連携することで、活動の守備範囲が拡大され、事業を町全体で展開できる環境づくりができていきます。今後は町内企業等にも働きかけて事業展開していくことで、町全体を「スポーツで元気に」していくことができると考えています。



町制100周年記念事業町内駅伝大会。
今後は毎年続けていくイベントになりました

4 「スポーツ文化を広げよう！みんなの笑顔のために…」をテーマに、さらなる発展をめざして

中学生がやりたい種目に取り組めるよう町の枠を超えた事業展開を計画中

中学校部活動の地域移行が叫ばれているなか、今年度クラブでは木曽郡スポーツ協会・木曽郡教育委員会事務局・総合型スポーツクラブ木曽エリアミーティング(木曽郡内の総合型スポーツクラブの連携組織)と連携して、木曽郡内の中学校の部活動の見直しを考え、5年後に長野県で開催される国民スポーツ大会に向けた木曽郡内全体での事業を「スペシャルアスリートプログラム」と題して事業展開を企画しています。子どもたちの人口が減っていくなか、今までのような一つの町村だけでは、中学生がやりたいスポーツ種目ができなくなってくる日が必ずやってきます。それに向けて町の枠を超えた木曽郡全体を考えた事業展開を計画しています。長野県教育委員会や長野県スポーツ協会とも連携をとって事業を展開していく予定です。

また、これまで構築してきた今までのスポーツ環境をもっともっと拡大し、町全体がスポーツで元気になるように町の資源を再確認したうえで、その資源を活用したスポーツの活性化や健康づくりにつながる事業を展開し、部活動にも広げていきたいと思っています。

若い世代の育成、後継者づくりが課題

クラブが設立されて20年を過ぎました。その当時の役員が今も頑張っていますが、今後は若い力を取り入れないといけません。若い人材の少ない町内で後継者をどう見つけるかが今後の課題になってきています。アンテナをより広げて、中核となる人材発掘、育成に力を入れる必要があると考えています。

今後もゆうゆうクラブはミッションでもある「スポーツ文化を広げよう！みんなの笑顔のために…」をテーマに事業展開をしていきます。

5

表彰等

各種表彰受賞等

平成13年5月 長野朝日放送スポーツ大賞受賞

平成14年10月 文部科学省生涯スポーツ功労優秀団体賞受賞

令和5年度 長野県スポーツ振興功績表彰 有功章団体内定

一般社団法人木曽ひのきっ子ゆうゆうクラブ専務理事 事務局長 辺見元孝

クラブプロフィール

設立年月日 平成13年11月9日(平成25年9月4日法人登記)

所在地 長野県木曾郡上松町大字小川1706番地

運営 会員数:530名(令和5年10月現在)、予算規模1200万円(令和5年度)

特徴 「スポーツ文化を広げよう!みんなの笑顔のために…」をミッションに事業を展開しています。97歳のおばあちゃんもTRXトレーニングしてますよ
おばあちゃんいわく「もう20年間もこの教室出ているからできるんですよ♪」
健康づくりとクラブ経営は「継続」ですね

連絡先 〒339-5607 住所:長野県木曾郡上松町大字小川1706番地

TEL:0264-52-2111 FAX:0264-52-5151

YouTube:https://www.youtube.com/channel/UCeT3vw_PuXQbHKtsmcGAUDw

fb:<https://www.facebook.com/agematsuyuyuclub>

E-mail:yuyusports@yahoo.co.jp

